

既存の防火対象物に設置されている全域放出方式の二酸化炭素消火設備について

二酸化炭素消火設備標識

屋外高耐候性仕様 UVカットラミネート仕上げ

消防庁では、令和2年12月から令和3年4月にかけて二酸化炭素消火設備に係る死亡事故は相次いで発生したため、事故の再発防止を目的に法令が改正され、新たに標識の設置が必要となりました。（消防法施行規則第19条第5項第19号イ（ホ）関係）

標識設置の期限：令和5年3月31日まで

- ◆二酸化炭素の危険性を注意喚起するために以下の場所の見易い箇所に標識を設ける必要が有ります
- 二酸化炭素を貯蔵する容器がある場所には（消火ポンベ庫室）の出入口 品番 CO2-001・002
- 二酸化炭素が放出される場所には（防護区画）の出入口 品番 CO2-001・002
- 二酸化炭素が放出される場所には（防護区画）に隣接する部分の出入口 品番 CO2-001・003
- 二酸化炭素が放出される場所内には（防護区画内） 品番 CO2-001・004



CO2-001（ピクト）
サイズ:450x300 材質:アルミハイドリット樹脂板3mm厚

危険

ここは、隣室に設置された二酸化炭素消火設備の消火ガスが流入するおそれがあり、吸い込むと死傷のおそれがあります。
消火ガスが放出された場合は、退避すること。近づく場合は、消火ガスが滞留していないことを確認すること。

CO2-001

CO2-003（隣接区画）
サイズ:200x300 材質:アルミハイドリット樹脂板3mm厚

二酸化炭素消火設備とは？

- 防護区画（二酸化炭素が放出されるエリア）内の酸素濃度を低下させ消火します。
- 消火に伴う汚損が少ない等の特徴から機械式駐車場や電気室等に多数設置されています。
- 設備が作動し二酸化炭素が放射されると防護区画内の視界は速に遮られ避難が難しくなると共に、高濃度の二酸化炭素は人体に影響を与え、場合によっては生命の危険性が生じます。

この室は、

二酸化炭素消火設備が設置されています。
消火ガスを吸い込むと死傷の恐れがあります。
消火ガスが放出された場合は入室しないこと。
室に入る場合は、消火ガスが滞留していないことを確認すること。

CO2-002（出入口）
サイズ:200x300 材質:アルミハイドリット樹脂板3mm厚

危険

ここには、二酸化炭素消火設備が設置されています。
消火ガスを吸い込むと死傷のおそれがあります。
消火ガスを放出する前に退避指令の放送を行います。
放送の指示に従い室外へ退避すること。

CO2-002

CO2-004（退避）
サイズ:270x480 材質:アルミハイドリット樹脂板3mm厚

京都市指定（別注品対応）

CO2-005（出入口）

サイズ:225x300
材質:アルミハイドリット樹脂板3mm厚

この室は、

二酸化炭素消火設備が設置されています。
消火ガスを吸い込むと死傷の恐れがあります。
消火ガスが放出された場合は入室しないこと。
室に入る場合は、消火ガスが滞留していないことを確認すること。

点検などの入室時、
閉止弁を閉止のこと！